



ふじなが たけし
藤永 壯 教授

“ 出身地と名物など ”

山口県下関市

本州最西端で全国的には
ふぐの名産地として知られています ”

専門分野

朝鮮近現代史

Q 担当科目を教えてください。

A

【 現代アジア論 】

韓国現代社会の理解—歴史的観点から」というテーマで、第2次世界大戦後、植民地支配から解放されながら国土が分断された朝鮮半島の現代史について、韓国を中心に概説します。

【 比較文化論 】

大阪を中心とした在日韓国・朝鮮人コミュニティの歴史を、日本社会との文化的ギャップを踏まえながらたどることで、国際化時代の日本社会がどうあるべきかを考えます。

Q 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

A

外国の歴史や文化を学ぶことは、まずそれ自体が知的好奇心を刺激する楽しいプロセスです。一方でそのことは、自分自身を外部の眼差しから客観的に見つめ直す作業にもつながります。日本と密接な関係をもつ朝鮮半島の歴史や文化には、「日本」「日本人」とは何かを考えさせる材料が、とくに多いと感じます。とかく政治問題として捉えられがちですが、歴史の中で見られる隣国の人々の、困難にへこたれず前向きに生きる姿は、私たちにも勇気を与えてくれることでしょう。



Q

先生の人となりを教えてください。

A

とりたてて趣味も特技も取り柄もない、面白みのないただのおっさん（じいさん？）です。コロナ禍以降、めっきり出不精になり、休日も家で雑事などをして過ごすことが多くなりました。最近、学生から私について「優しい」という評判があると聞き、少し意外だったのですが、それは歳を取って、たんに学生を叱る元気がなくなってきたからだと思います。ただし、悟りを開くまでには、まだまだ修行が足りないと自覚しています。

Q

学生のみなさんへメッセージを！

A

息苦しい日本に閉じこもっているだけでなく、若者にはどんどん海外へ出て、さまざまな体験を積んで欲しい。先行き不透明で混沌としたこの世の中。私の考えや経験を話すことが、いかほど若いみなさんの役に立つのかわかりませんが、それでも「ベテランの味」も使い道があるだろうと信じてサポートできればと思っています。